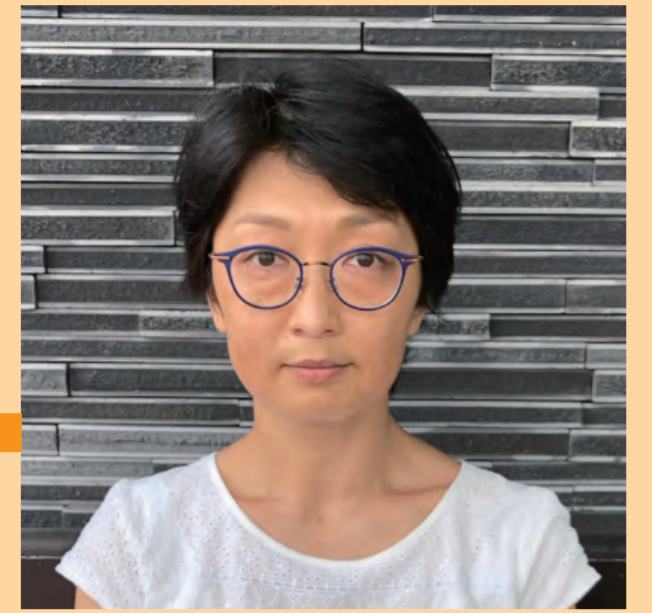


# 三田盆地に分布する神戸層群の年代を調べる



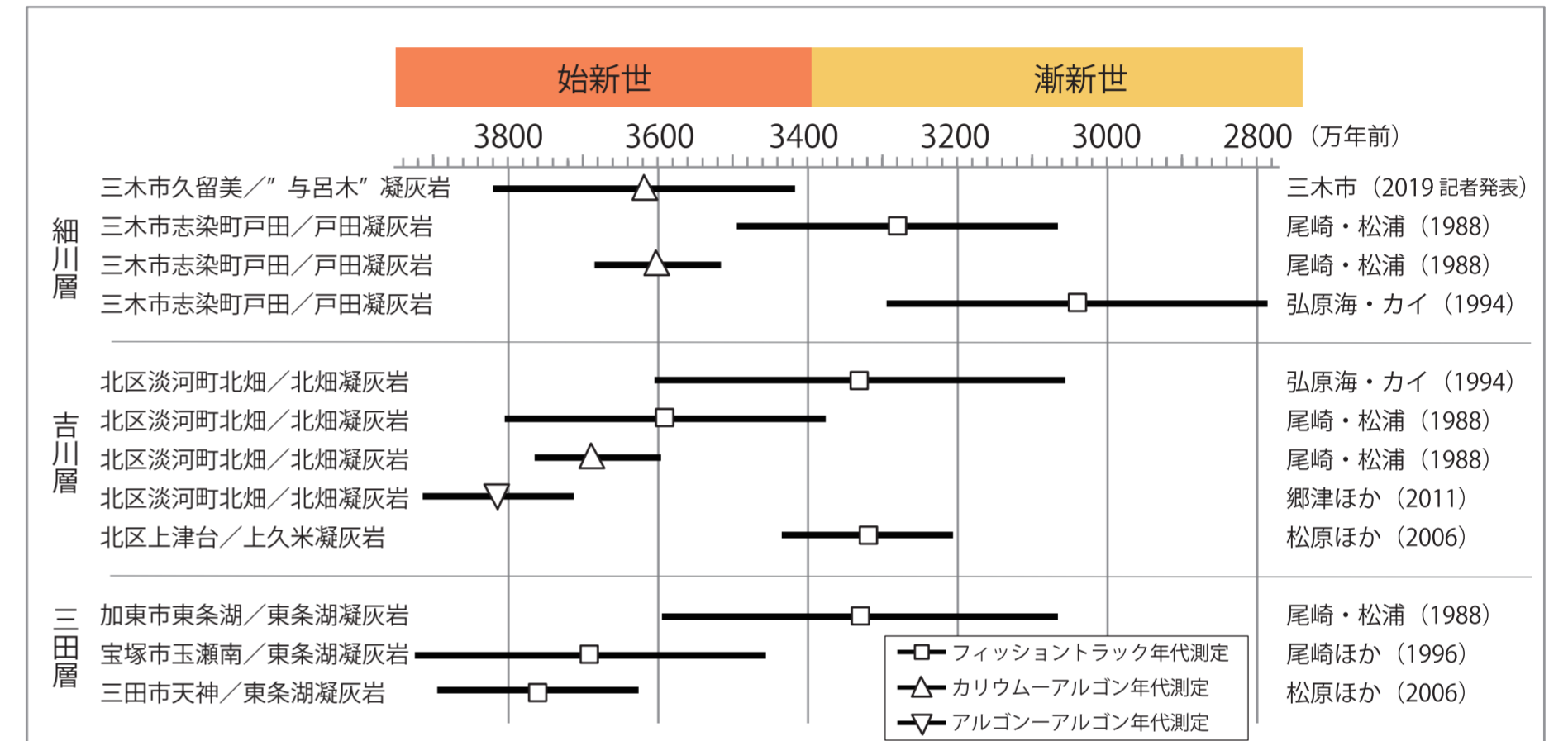
自然・環境評価研究部 地球科学研究グループ

半田 久美子

神戸層群の年代は、これまでの研究から、アミノドン類が産出した吉川層上久米凝灰岩付近が 3800 万年前頃であることがわかってきました。そこで神戸層群の最下部と最上部の年代を明らかにするために調査を行なっています。古第三紀の始新世末から漸新世にかけて世界的な寒冷化が起きており、神戸層群がこの寒冷化の時代にかかっているのか調べるためです。

これまでの年代測定では測定誤差も含めると 3900～2800 万年前という幅広い値が得られています。そしてジルコンを用いたフィッシュントラック (FT) 年代測定では比較的新しく、黒雲母のカリウム - アルゴン (K-Ar) 年代では古く出る傾向がみられます。

この傾向の原因が、凝灰岩の堆積環境を反映したものか、鉱物に由来するものなのか探るとともに、三田盆地の凝灰岩層の対比と上下関係の再検討を進めています。凝灰岩層の層相や含有鉱物を調べることで、ひいては神戸地域の凝灰岩との対比につながることを目指しています。



神戸層群の三田地域で測定された年代値



三田市大川瀬の東条湖凝灰岩



加東市 東条湖湖岸の東条湖凝灰岩